

新日本石油精製と新日本石油化学との合併について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループは、2008年4月1日付で、新日本石油精製株式会社(社長:大野 博、当社出資比率:100%、以下「新日本石油精製」という。)と新日本石油化学株式会社(社長:高橋 良昭、当社出資比率:100%、以下「新日本石油化学」という。)との合併を決定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、原油から石油および石油化学製品までの一貫生産・販売・研究開発体制の強化、即ち、製油所設備の高付加価値化を目指したCRI(Cheical Refinery Integration:石油精製と石油化学の一体化)体制の実現に取り組んできております。この戦略のもと、まず2006年4月1日付で新日本石油化学の本社部門(管理部門、販売部門および研究開発部門)を、会社分割の方法により当社に統合し、販売・研究開発体制の充実を行ってまいりました。

今回、さらなるCRIの深化を図るとともに、管理部門における合理化・効率化を図るべく、本社部門のみならず、製造現場部門も一体化することとし、2008年4月1日付で、新日本石油精製と新日本石油化学とを合併(新日本石油精製が存続会社、新日本石油化学が解散会社となる吸収合併)することにしたものです。これにより、当社グループのコスト競争力を高め、需要の増大するアジア市場を中心に石油化学事業を一段と強力に推進し、グループとしてのさらなる収益拡大を図ってまいります。

以上

 [当社、新日本石油精製、新日本石油化学の会社概要 \(112.5KB\)](#)